

(様式)

パブリックコメント実施結果報告書

平成30年2月16日

| | |
|-----|----------|
| 担当課 | 図書館 |
| 担当者 | 副館長 河本直正 |
| 連絡先 | 26-8155 |

パブリックコメントのテーマ：「鳥取県立図書館の目指す図書館像」の第2次改定案

1 手段別意見応募件数（意見件数を記入し、応募者数は（ ）書きをしてください。）

| 郵便 | ファックス | 電子メール | 県民課・総合事務所等 (意見募集箱) | 電子 アンケート | 持参 | その他 | 計 |
|-----|-------|-------|-----------------------|-------------|-------|-----|-----------|
| () | () | 2 (1) | 4 (1) | 127 (127) | 5 (3) | () | 138 (132) |

2 応募意見の政策案等への反映状況

| 対応状況 | 件数 | 主な意見 |
|-------------------|-----|---|
| 反映した (一部反映を含む) | 3 | <ul style="list-style-type: none">県内の産業を活性化させることが急務であり、そのために鳥取県立図書館が取り組むビジネス支援サービスの充実を望む。用語集の「オープンデータ」は役所向けの説明であり、一般的な定義に修正すべきではないか。国立情報科学研究所 → 国立情報学研究所への字句修正 |
| 既に盛り込み 済み | 4 | <ul style="list-style-type: none">図書館が、様々な人にとって居場所となるようにしてほしい。地域から書店がなくならないようにしてほしい。鳥取県は、今後も高齢化率が高まることから、直接県立図書館に行かなくても、サービスが受けられる高齢者に優しいしくみを考えてほしい。多くの人がスマホを持つような時代となっているので、スマホやパソコンなどを活用したサービスを考えてほしい。 |
| 参考とした | 4 | <ul style="list-style-type: none">新設する柱「知の拠点としての図書館」は、4番目ではなく、1番の柱として位置づけるべきではないか。県民の生活が良くなるため、知の情報をどのように提供していくのか工夫する必要がある。小中学校、高等学校の本離れを抑止するよう、読書の推進に力を入れてほしい。そのためには、本や新聞を毎日読む習慣を身につけさせることが必要。国際交流ライブラリーは県民に知られているとは言えない。一層の充実と周知を図ってほしい。 |
| 対応できない | | |
| その他 | 127 | <ul style="list-style-type: none">市町村図書館との連携や出張型のサービスなど、中西部も含め全県でいつでも、どこでも、だれでも質の高いサービスを受けられるようにしてほしい。高齢者世代や子育て世代へのサービスも重要だが、それ以外の世代への魅力が乏しい。地元の本屋で本を買いたい品揃えが不十分。行政として何か手伝えることがあるとよいと思う。 |
| 計 | 138 | |

3 公表方法として該当するものに○を付してください。

| とりネットでの公表 (担当課による) | 報道機関への 提供 | 県議会への報告 | 広報紙等への掲載 | 関係団体等への 報告 | その他 |
|-----------------------|--------------|---------|----------|---------------|-----|
| ○ | ○ | ○ | | ○ (図書館協議会) | |